

2024-25年度クラブ目標

『思いやりがある 感謝のロータリー』

創立1986年



2024-25年度国際ロータリーテーマ

会長 阿部 克弘
幹事 十文字 光伸

第1836回例会

令和7年1月9日 (18:30~19:30)



○ソング

- 君が代、奉仕の理想

○スマイルBOX

- 阿部克弘会長、十文字光伸幹事、宮本多可夫会員、成井正之会員、関谷亮一会員、金田昇会員、富永章会員、安部和夫会員、佐藤幸彦会員、永野文雄会員、白岩修一会員、佐藤弘会員、藤田龍文会員、池田浩章会員、居川孝男会員、村上堅二会員、山口治会員、大住由香里会員（あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願い致します。）
- 中目公英会員（あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願い致します。穏やかな正月、たくさんの初詣の方々にお越しいただきました。ありがたいことと存じます。）
- 瀬谷隆志会員（本年もよろしくお願い致します。誕生日のお祝いありがとうございました。）
- 前原俊治会員（あけましておめでとうございます。阿部会長、十文字幹事、あと半年頑張ってください。1月3日は結婚記念日でした。プレゼント有難うございました。）
- 山田顕一郎会員（あけましておめでとうございます。昨年はスマイルに多くのご協力を頂きありがとうございました。本年もよろしくお願い致します。またクリスマス例会では子供たちがお世話になりありがとうございました。）
- 沼田重一会員（あけましておめでとうございます。阿部会長卓話ありがとうございました。今年も残すところの親睦活動委員会を頑張りたいと思いますのでご協力お願い致します。）
- 石部辰雄会員（結婚記念のお祝いありがとうございました。本年もよろしくお願い致します。）

▶第1836回例会出席状況 (R7年1月9日)

Ⓐ 出席免除を受けていない正会員数	54名
Ⓑ 出席免除の適用正会員数	19名
Ⓓ 全正会員数	73名
Ⓒ ①の出席者数	30名
Ⓔ ①のメイクアップ者数	0名
Ⓕ ②の出席者数	15名
Ⓖ = Ⓒ + Ⓔ + Ⓕ (メイクアップ補填後の出席会員数)	45名
Ⓗ = Ⓓ - (Ⓑ - Ⓕ)	71
Ⓘ = Ⓖ / Ⓗ × 100 (例会出席率)	63.4%

1/9 本日のメニュー

- ・彩野菜・春雨と牛蒡の旨煮
- ・海老と南瓜のカレー風炒め煮
- ・蒸し鶏と野菜入りチキンコンソメスープ
- ・白河産こしひかり・白菜の中華風甘酢漬け
- ・水菓子

▶例会日: 第1・第3木曜日 (12:30) その他の木曜日 (18:30~19:30)

▶例会場: 白河市新白河駅前 東京第一ホテル新白河

▶事務局: 〒961-0957 福島県白河市道場小路96-5 (白河商工会議所内) ☎23-3101 FAX22-1300

本日のプログラム

■会長の時間

阿部克弘会長



改めましてあけましておめでとうございます。皆さんにおかれましてはどのようなお正月を迎えられたでしょうか。私はいつものようにお正月の1月1日は地元の鹿島神社の歳旦祭に参加してまいりました。そして一年の安寧を祈って参りました。その後、南湖神社に赴きましたが、やはり南湖神社も大変多い方が参拝に来ておられました。今、時勢は南湖神社かなと渋沢栄一さんの影響力、メディアの影響力というのは凄いものだなと思って帰って参りました。

うちは12月31日から1月3日までのお休みで4日からはもう仕事に入りました。今年は例年と比べてゆっくりとした正月になりました。いつもですとちょっと遠出をしてお正月を過ごすというのが恒例でしたが、今は白河西ロータリークラブの会長を仰せつかっておりますので、日ごろ辛い思いもありますので、少し休養をした方が良いのかなという事で、今回は家でゆっくりとさせていただきます。皆さんもいろいろと自由なお過ごし方をされたと思います。本日は先程SAAの話ですとセレモニーがいっぱいありますので、会長の時間は以上とさせていただきます。本日もどうぞ宜しくお願い致します。

■幹事報告

十文字光伸幹事

○ガバナー早川敬介 青少年奉仕委員会委員長 増子博保：第41回RYLA研修会への参加について

○白河ユネスコ協会会長 小野利廣：「2025年度東北ブロックユネスコ活動研究会福島大会in白河」第3回実行委員会について(通知)

○日本事務局 業務推進室：職業奉仕月間リソースのご案内

○公益社団法人白河青年会議所第67代理事長 鈴木恒平：公益社団法人白河青年会議所2025年度新年会開催のご案内

○ガバナー早川敬介 RLI委員会委員長 佐藤栄朗：ロータリーリーダーシップ研究会(RLI)第7期RLI卒業後コース開催について(ご案内と登録のお願い)

○福島民報社：広告掲載誌

○2022-23年度地区幹事 佐藤日出夫：2022-23年度地区要覧

■新会員入会式

十文字俊之会員



皆さん、こんばんは。おそらく一回目が8月に初めて来させていただいて、ちょっと訳も分からずお食事と皆さんとこうお話させていただいて、目的とかロータリーの目指すところを共感しましたので、入会した

からは積極的に参加していきたいと思えますので、どうぞよろしくお願ひしたいと思います。よろしくお願ひします。



■各委員会報告

○親睦活動委員会

沼田 重一委員長

【結婚記念日】

前原俊治会員

【誕生日】

片倉義文会員、

湊洋子会員、

諸橋和典会員、

須藤正樹会員、

齋藤愛会員、中嶋一貴会員、

瀬谷隆志会員、永山文雄会員



皆さん、あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。親睦委員会からですが今月の30日、3ロータリーによる新年会を「シン鹿島」さんでやりますので多くの参加をお願いします。それと、もう来月末から3月に向かって、ホームミーティングを開催いたしますので後程ご案内申し上げます。以上です。

○雑誌広報渉外委員会

瀬谷隆志委員長



本年もよろしくお願いいたします。それでは、「ロータリーの友」の読みどころをご紹介させていただきます。まず初めに、横の目次の所の7ページをお開きください。こちら「いま、あらためて4つのテスト」というところで、1月は職業奉仕月間となっております。その理念の礎となっている4つのテスト、ハーバート・J・テラーさんによって作られたというところで、今ちょうど年も新しくなったのでこういったと

ころをもう一回読み直して、ロータリーの礎になるところを勉強されるのもいいのかなというふうに思いますので、ご一読いただければと思います。続きまして31ページですね、昨年11月に郡山の「ユラックス熱海」で行われました地区大会の略報ということで、その時ラグビー日本代表の大野選手の写真が載っております。続きまして、反対側の縦目次のほうなんです、こちらの16ページですね。「北陸能登特別編」「にっぽんふうど」というところです。早いもので北陸の地震からもう一年経ちまして、その時の思い出される写真が載っております。北陸の食べ物が美味しいような内容になってますので、こういったところでも何か我々の手助けになるところがあればいいのかなというふうに思いますので、ご一読いただければと思います。

○プログラム委員会

大住由香里委員長



皆さん、あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いたします。プログラム委員長の大住です。今日は今年1月から6月までの間にプログラムの内容に追加をさせていただき内容を報告させていただきます。昨年度、理事会で承認をいただき、内容としましては、例会に会員の3分から5分間のスピーチをいただくという形を取りたいと思います。以前にもやったことがあるというお話は聞いたことがあるのですが、また改めてやりたいと思っております。現状の課題としまして、半年経ちましたが、出席率が目標の60パーセントを達成できていないという現状と、プログラム内容も会員の卓話が少なく、会員さんが声を発する機会が少ないということから企画させていただきました。目的としまして、ロータリー活動が活性化できるようなプログラムを検討し、出席率を是非60パーセントを達成させていきたいという内容でございます。また、2年後に控えておりますガバナー輩出クラブとして、全会員が協力できる体制を少しでも整えていくのと、来年には40周年という形もありますので、その部分で体制を整えていければなと思っております。具体的な内容としまして、来週は移動例会なのでその次から、1例会に一人3分から5分程度で、卓話会員の人選という部分に関しましては、出席率向上がありますので、出席率低めの会員さんに依頼していきたいと思っております。なんか罰ゲームみたいに思われるかなという話も出たんですけども、

これはなかなか行くチャンスがない会員さんにきっかけを提供していきたいなという思いでございますので、お願いします。その他に、会員の3分間スピーチも含めましてせっくなので今までおこなっていた金田さんのほうの3分スピーチも継続して、ガバナー輩出クラブというところの意識付けをしていきたいと思っております。その中で、例会内容にボリュームが出てしまうので、食事の時間を少し短めにして開始時間を早めにしたところもありますので、ご協力のほうよろしくお願いたします。こういった形で、再来週から始まっていきますので、是非私からお声の掛かりました皆さんはご快諾いただければなと思っておりますので、阿部年度6月いっぱいまでです、どうぞよろしくお願いたします。

○S A A

矢田部錦四郎会員

今、プログラム委員会のほうから報告がありましたとおり、1時間という例会の中でプログラムを進めていかなければいけないので、今食事が例会の15分前頃から準備出来ておりますので、その時間に来ると先程言いましたが、温かく出来立てのご飯を食べられます。冷たいご飯を食べるのはS A Aだけでいいかなと思っております。是非皆さんは早めに来て美味しいご飯を食べていただければと思います。そうすれば、内容の濃い例会ができるかということで、一言S A Aのほうから付け加えさせていただきました。

○会計

市川正人会員



皆さん、こんばんは。会計からのご連絡でございます。今月は通常会費と、先日お話がありました特別会費1万円の徴収月となっております。1月27日月曜日、ご指定の口座から会費を引き落としさせていただきました。ご準備よろしくお願いたします。また、直接振込みされる方もお手続きのほうをお願いいたします。なお、後日事務局からご案内が届きますのでご確認よろしくお願いたします。

○移動例会のお知らせ

○職業奉仕委員会

村上堅二会員



皆さん、あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いたします。来週ですが移動例会ということで、当社のほうに御来社いただけるということでお話をさせていただきました。それで、うちのほうのジムがどうしても小さいので、ウォーキング5人、体操を入れても10人ということなので、皆さんのほうにメールで行ってると思いますが11時から12時半までありますので、その時間で選んでいただければと思いますのでよろしくお願いいたします。

■本日のプログラム

○会長年頭卓話

阿部克弘会長



皆さん改めましてこんばんは。会長の年頭卓話という事で何を話そうかという事を考えました。矢

田部SAAさんにも相談したんですが、ロータリーを絡めてやったらどうかというふうなアドバイスもいただきましたが、私はこれまで卓話というのは新入会員のころに3・4度ただけでした。その後、ずうっとやってなかったという事でございます。

会長になって米沢中央ロータリークラブさんで卓話をさせていただいた時に、私のライフワークでもあります動物愛護ボランティア活動を卓話にしました。今後いつ卓話ができるか分かりませんので、普段やっている活動を皆さんに知って貰う事もPRの一つかなと思い決めました。それと最近年齢の比較的若い方やロータリー歴の浅い方が増えてきたので、阿部克弘という人間が良く分かっていच्छらない方もいると思いますので、この「動物愛護ボランティア活動報告」という事を年頭の卓話とさせていただきます。会長特権としてお許しいただければ幸いに存じますので、どうか最後までお聞きいただきたいと思



Table with columns for dates and activities. Includes sections for '阿部克弘略歴' (Brief History of Akira Abe) and '白河西ロータリークラブ' (Shirahama West Rotary Club). The table lists various dates and corresponding activities or events.

それでは始めますが、私は昭和32年7月28日生まれの今67歳になります。2010年10月1日入会で、職業分類は化粧品販売業です。ちょうど金田さんが会長の時に入会して、このロータリーバッジはその時の大橋ガバナーさんから付けていただきましたが、大橋ガバナーは私の高校の大先輩で、そのような方からいただいた嬉しさというのは今でも忘れてはおりません。動物ボランティア活動の他に犬バカの阿部克弘でSNS等をやっておりますので、動物特に犬がメインでやっている事を少しの方にはわかると思いますが、その他に興味として筋トレをやっております。前回のホームミーティングで山田会員さんから阿部さんはベンチプレスで90キログラムを持ち上げるという話がありましたけど、実際に本当に持ち上げるのかどうか分からないと思いますので、動画を皆さんに見ていただければと思います。先程も言いましたが、今67歳なんですけど65歳の時に挑戦して上がりました。その後は鼠経ヘルニアの手術をしたり肩を痛めたりして、目標の100キログラムには到達しておりませんが、まあ何とか頑張りたいと思います。ちょっと見てください。上がった拍手してくださいね。宜しくお願いします。本来はバックミュージックが流れてカッコいいのですが、今日は調子が悪いのか音楽がでません。これ90キログラムです。これは本当なんです。少なめの拍手有難うございます。反応がちょっと薄いようですが、今100キログラムを目指して頑張っておりますのでどうかご支援いただければ有難いです。

ボランティア会の始まり



県南保健福祉事務所(当時)現在は福島県動物愛護センターが主催する「飼い犬のしつけ方教室」に参加した10名前後のメンバーが生まれ2001年4月に発足したので「県南地区動物愛護ボランティアの会」は今年で23年になります。

当初は習教室のアシスタントを務めたり小学校の飼育動物とのふれあう「獣医師派遣事業」のお手伝いをしていました。私が会長になった2007年の翌年(2008年)から福島県西郷村にある「太陽の国」福島県さつき荘にメンバーのボランティア大たちを連れて参加したのが最初で、それからアニマルセラピー(動物介在活動)活動が始まり今年で16回になります。

現在では白河市教育委員会の「出前講座」で要請があった小学校や児童クラブや中学校への訪問と、さまざまな活動の場へと広がっています。

年会費は一人当たり1,500円で奉仕の精神で行われています。現在の会員数は22名で福島県内にある県北・県中・会津・相模地区の各ボランティア団体の中では最大規模を誇っています。

さてボランティアの会の始まりは2001年に福島県が行なうしつけ方教室の学科と実技の第1回目の卒業生の有志が集まって作った会でございます。私が3代目の会長をしておりまして、2007年からはなるので17年ぐらいになりますか。最初は県南保健福祉事務所の犬を使わないお手伝い程度だったんですが、2008年福島県西郷村にある「太陽の国」の「福島県さつき荘」という所で保健所と一緒に実証実験を行いました。それは入所者が犬と触れ合う事によってどんな成果が得られるかという事を半年間に渡って行いましたが、実際かなりの成果が上がったという事でございます。行政は半年しか実証実験をしないのでその後はさつき荘さんからぜひ続けていただきたいとお願いされ行う様になりました。私たちが独自にずっとコロナが発生して中止になるまで毎月1回訪問して入所者さんのリハビリ効果に寄与してまいりました。また機会があったら再開したいと思います。

ボランティアメンバーとボランティア犬

【メンバー】

🐾 福島県動物愛護センター主催の「飼い犬のしつけ方教室」及び「動物愛護ボランティア育成講習会」の修了者

【ボランティア犬】

🐾 福島県動物愛護センター主催の「飼い犬のしつけ方教室」終了及び獣医師による適性検査に合格した犬が対象

ボランティアメンバーは飼い犬のしつけ方教室ならびに福島県の動物愛護ボランティア養成講座を修了した方です。またボランティア犬は、飼い犬のしつけ方を修了して獣医師の簡単な適性検査に合格したワンちゃんが担当しています。

動物ふれあい訪問活動・三信条(県南地区ボラ会)

- 🐾 第一条：命の大切さ
- 🐾 第二条：モラルマナーの大切さ
- 🐾 第三条：動物の素晴らしさ

人間の身勝手な都合により翻弄される動物たちの命。モラルマナーの悪い飼い主によるフンの不始末・放し飼い・放置・無計画な繁殖など。ほじょ犬(介助犬・盲導犬・聴導犬)による人間の支えやセラピー犬としての社会貢献。

癒し効果などさまざまな能力を持っている動物たちの「動物ふれあい訪問活動」を広くPRしていくのが私たち「県南地区動物愛護ボランティアの会」の役目と考えています。

私たちは「命の大切さ」「モラル・マナーの大切さ」「動物の素晴らしさ」を信条として行っております。この動画は2020年12月20日に西郷村の米小学校で開催されたものですがちょっと見ていただければと思います。これも本当は音楽が入っているんですが、ただ動画を見ているだけでは味気ないなという気はします。またぼかしが入っているのが皆さんに児童さんたちの満面の笑みをお見せする事ができないのがとても残念です。

福島県獣医師派遣事業・県南地区動物愛護ボランティアの会

新型コロナウイルス感染症防止対策を講じながら実施中です！

- 2022.12.20
- 西郷村立米小学校
- 参加児童/42名

【参加メンバー&ボランティア犬】

- 水谷和美副会長/リッキー
- 関澤佳子会員 /ちび
- 野口美樹会員 /はっち
- 阿部克弘会長 /ホヌ

こちらはうちの前のボランティア犬のホヌが児童さんたちにふれあいをさせているところです。ワンちゃんを飼っている家庭が少ないので保健所の勉強より実際の動物に触れる方が喜びとして大きく児童さんにとってとても嬉しい様ですね。

令和6年度・獣医師派遣事業&ふれあい訪問活動

🐾 05月14日(火)	白河市立小野田小学校	児童数14名
🐾 06月18日(火)	棚倉町立社川小学校	児童数17名
🐾 09月19日(木)	西郷村立川谷小学校	児童数09名
🐾 09月24日(火)	泉崎村立泉崎第二小学校	児童数43名
🐾 10月01日(火)	棚倉町立棚倉小学校	児童数66名
🐾 10月24日(木)	塙町立塙小学校	児童数67名
🐾 10月31日(木)	白河市立白河第一小学校	児童数51名
🐾 11月07日(木)	西郷村立米小学校	児童数32名
🐾 11月28日(木)	白河市立みさか小学校	児童数53名
🐾 12月20日(金)	老人福祉施設・ツクイ白河	児童数35名

こちらは令和6年度の獣医師派遣事業でのサポートになります。5月14日は白河市の小野田諸学校ですね。6月18日は棚倉町の社川小学校。9月19日は西郷村の川

谷小学校。9月24日は泉崎村の泉崎第二小学校。10月1日は棚倉町の棚倉小学校ですね。この時は町長の宮川さんが初めて行政の長としてお見えになり励ましをいただきました。メンバー一同大変嬉しい思いをしました。有難かったです。10月24日は塙町の塙小学校。10月31日は白河市の白河第一小学校。11月7日は西郷村の米小学校。11月28日の最後は白河のみさか小学校でした。かなりの児童さんに参加していただきました。また老人福祉施設は白河市の運動公園前にある「ツクイ白河」さん。こちらは前回から間が空きましたが、2回目の要請があったので行ってまいりました。この時は後から職員さんから話を聞きましたが、大変喜んでいただいていた泣いていらっしゃる方がいたそうです。また冥途の土産に良いものを経験させて貰ったという利用者さんもいたそうでございます。その様に言っていただけるのは本当にボランティア冥利に尽きるなと思います。



これがその時の写真ですが本当に顔写真を見せることができないもどかしさ。子供さんの喜ぶ声や感動を現場で見ていただくのが一番だと思います。今は個人情報上の難しさがあるためこの様に顔を隠して動画もぼかしながらやっております。当然、老人福祉施設なんかもそのような形でやっております。以前は白河西ロータリーメンバーの遠藤敦さんの所の施設にも何回か訪問させていただきました。

ボランティア犬を通じて情操教育の必要性

- 🐾 児童に犬との接し方を教える → 動物の理解を深める。
- 🐾 児童に犬の心音を聴かせる → 人間と同じ事を教える。
- 🐾 児童と犬とのふれあいを行う → 癒し効果、「命の大切さ」「モラル・マナーの大切さ」
- 🐾 犬アレルギーのある児童にはさせない、「動物の素晴らしさ」を教える。
- 🐾 大人になって犬とのふれあいで学習したことを実践して貰えば「殺処分ゼロ」は実現可能ではないか！
『理想を現実にする』

児童さんにはボランティア犬を通じての情操教育がとても必要だとすごく私たちは感じております。犬と

の接し方や心音を聞かせて人間と同じなんだという事。それから犬とのふれあいでの癒し効果。そして先程も言いましたように「命の大切さ」「モラル・マナーの大切さ」「動物の素晴らしさ」などを積極的に継続的に教えて行きたいと思っております。犬アレルギーのある児童さんにはさせない事も大切です。これはもう小学校でも先生方が十分に注意してやっております。今、問題なのは捨て猫や捨て犬で保健所に引き取られる保護犬とか保護猫です。飼い主や里親が見つからないときは、やはりさっ処分をされるようになりますが、福島県が犬猫を合わせると福島県が全国で一番多い様です。その様なことを防ぐ活動を私たちはしております。そのために小学生の低学年にこの話をして、大きくなってきちんと最後まで責任をもって動物を飼ってもらおう説明や教育をしております。つい最近ですが白河市の八竜神の近くに「ローズ薬局」があります。そこでミニ動物園みたいなことをやっていたので私たち夫婦は好きなので行ってきました。そしたら小さい女の子がお母さんと一緒に私の所に来て「この間はどうも有難うございました。本当にかわいいワンちゃんを連れて来てくれて嬉しかったです」きちんと挨拶をしてくれました。よく聞いてみたら白河第一小学校の児童さんで、私たちがボランティアに行った時にその中にいた女の子でした。ナイアは自動車の中にいたので私だとは分からないはずでしたが、女の子は分かっていたんですね。それだけ子供さんの記憶力は大人になっても絶対忘れないんじゃないかと思うので、小さい時からさっ処分の話はしたくありませんがきちんと勉強をすればさっ処分の数が減って行くのかなと思いました。

ボランティア犬のアニマルセラピー効果！

福島県さつき荘のアニマルセラピー

「2008（平成20）年07月～12月」

「動物とのふれあいを通じて、社会福祉入所者の身体的・精神的な機能回復効果の増大を図る」

- 🐾 県南保健福祉事務所・主導
- 🐾 県南地区動物愛護ボランティアの会・サポート
- ①癒し効果 ②精神面の改善
- ③機能回復効果 ④鎮痛効果
- ⑤生活の潤い（末期癌の入所者の支えとなった）

「さつき荘」のアニマルセラピーは2008年7月から12月まで県南保健福祉事務所と一緒にやりましたが、この1番から5番までの癒し効果、精神面の改善、機能回復効果、鎮痛効果、生活の潤い、末期がんの入所者の支えとなった事もありました。本当に動物の力って

素晴らしいなと私はその時改めて感じました。

その後、一昨年ですが余命宣告された女性の家族から以前に犬をペットとして飼っていたのでもう一度犬とふれあいがしたいという要望があったんです。この時は予定していた日より一週間早く都合がついたので、主治医もデイサービスの了承も得ていたので、前のボランティア犬のホヌを連れて行ってまいりました。そしたら、その後なんと一週間後にお亡くなりになった事を家族の方から聞いたので早めて良かったなと思いました。今は末期がんのいろいろな取り組みがなされておりますが、これからは動物の力が本当に強くなっていくのかなと思います。残念ながら日本では医療行為の一環にはなっておりませんが、欧米では認められており医療先進国は凄いなと感じました。

新たな取り組み／終末期ボランティア活動

余命宣告された女性（家族・主治医・デイサービスの了承）の要望で患者さんを訪問。

以前に犬をペットとして飼っていたのでもう一度犬とふれあいがしたいとの要望でした（福島市）



犬・猫の殺処分ゼロを目指して

- ❗ 先ずは現実を知る・・・処分の実態を知る事でペットを飼う見方が変わるはず。
- ❗ 衝動買いをしない・・・犬・猫が本当に必要か家族で話し合う事が大切である。
- ❗ 無駄な命を作らない・・・オスは去勢、メスは避妊手術を受ける。殺処分を減らす為には仔犬を生まれるのを防ぐ。興味本位や暇つぶしで繁殖に手を染めない。
- ❗ 迷子にしない・・・雷、花火、散歩や旅行先、ドアや門の隙間の他、放し飼いと云う悪質な事をしてない。
- ❗ 捨てない・・・想像していた事との違い、飽き、問題行動、しつけ、費用、介護など色々あるが最後まで面倒を見る。終生飼育の徹底（動物愛護管理法）
- ❗ 里親を考える・・・保護施設から迎える。

犬猫のさっ処分は一昨年は福島県で約2万頭位いたので、無駄な命を作らないためにはオスは去勢をするメスは避妊手術をする。そして想像していた事との違いとか飽きてしまったりとかで捨てたりしない。終生飼養の徹底をお願いしたいです。動物管理法でこれはもう認められているので破ると罰せられます。

動物（犬・猫）の今後の目指す環境について

白河市教育委員会「出前講座」、福島県「獣医師派遣事業」老人・障がい者施設等での「ふれあい訪問活動」などボランティア犬を通じて『命の大切さ』『モラル・マナーの大切さ』『動物の素晴らしさ』の啓発活動を之からもして参ります！

🦴 動物と共存・共栄できる社会づくり 🦴

🐾 🐾 🐾
🦴 だれにでもやさしい街づくり！！ 🦴

今後の目指す環境については動物と共存共栄ができる社会づくり。誰にでも優しい街づくり。ちょっと選挙のフレーズみたいになっちゃいましたが、これを皆さんと一緒にできればさっ処分も少なくゼロを目指す事ができるんじゃないかなと思っております。ちなみにさっ処分がゼロの国はドイツなんですね。やはりドイツは進んでいます。

SNS等での情報発信の大切さ！

🐾 県南地区動物愛護ボランティアの会等のHPで積極的にPRする。



🐾 『🐶犬バカの阿部克弘』のFacebook等でリアルに情報を発信しています！



🐶 会員募集中！

SNS等で私もフェイスブック、インスタグラム、ライン等で活動を発信しておりますので、もし見ていただくことができれば是非お願いをしたいなというふうに思っております。

盲導犬応援プロジェクトIN白河2025

私は普段余りの光り当たらない影に光りを当てたい活動とし「福祉活動」に重きを置いて任期の1年間(7月-6月)の活動をして参りたいと考えています。今回、私がロータリークラブ活動とは別な生涯にわたって結んでいるライフワークとしての動物ボランティアに(福島県から依頼)関わっている「ほじょ犬」の中でも、特に「盲導犬」に光りを当てたい活動を企画しました。それが今回の『盲導犬応援プロジェクトIN白河2025』です。とても地味な活動ではありますが、健常者と障がい者が分け隔てのない社会づくりに欠かせないものの一つが「盲導犬」だと思っております。一人でも多くの人たちに、この事を理解して貰い『心の障がい』も取り除いた環境づくりに貢献して参りたいと考えていますので何卒よろしくお願い申し上げます。🐾ロータリー-福祉の動物愛護活動会を使用

📅 日時：2025年3月22日(土)は曜日
📍 場所：白河信用金庫 新白信ビル(西支店)
🗣️ 講師：福島県障がい福祉課 障がい福祉課 副主査 鈴木 祐花 様
🎤 実演：日本盲導犬協会 仙台訓練センター 普及推進担当リーダー 池田 義教 様
📍 白河：鍼灸師 関口 徳成 様

そういうところを踏まえまして私は今回、社会奉仕委員長の山口委員長をお願いをしまして「盲導犬の応援プロジェクトin白河2025」というものを企画していただきました。わたくしのちょっとミスで本来であれば9月にやる予定だったんですが、準備時間が少ないということでその後変更していただきましたが、なかなか県、盲導犬協会、そして場所と。三者が合致するところがなかったもんですから、ようやくと2025年3月22日土曜日、白河信用金庫新白河ビル西支店で、講師は福島県障がい福祉課、副主査の鈴木祐花さん。この方は本人が盲導犬のハンドラーになっております。目が不自由な方でございます。その方に来ていただいて実際の話を県の取り組みなんかも今、力を入れて進めてるようでございますので、そのところをお話をしただけならばと思っております。それから、日本

盲導犬協会の仙台訓練センターから普及推進担当のリーダーの池田さんとデモ犬が来ていただいて、皆さんにそのデモンストレーションを見ていただくというふうな形になっております。白河にも一人だけハンドラーの方がいらっしゃいます。鍼灸師をやっていらっしゃるセキグチさん。この方、時間が合えば日時が合えば来ていただくようにはお願いはしておりますが。一人しか県南地区にはおいでにならないということもございますけども、一人は万人のために、万人は一人のためにという、これ保険の吉成委員長なんかは保険やってらっしゃるからわかると思うんですが、保険の理念で相互扶助の考え方。一人しかいないからこんなのは必要ないだろう、そういうことではなくて、やはり健常者と障がい者が共存共栄できるそういう社会づくりをしていかないと、白河地区も県南地区も〇〇ないかなというふうに思っております。

RIテーマ：ロータリーのマジック

39

クラブ目標：思いやりがある感謝のロータリー

【今後の白河西ロータリークラブ】

🐾 2025~2026年度：40周年(藤田龍文会長エレクト)

🐾 2026~2027年度：金田ガバナー輩出(青木 大副会長)

40周年・ガバナー輩出年度に向けた「組織・環境づくり」に会員一同一丸となって頑張る年度となります!!

🐾🐾 ご清聴有難うございました!! 🐾🐾

最後に今後の白河西ロータリークラブも何をやっていくかということが、RIのテーマの「ロータリーのマジック」ということと、クラブ目標が「思いやりのある感謝のロータリー」ということで、2025 - 26年度は40周年、これは藤田龍文会長エレクトが会長としてやられます。また、2026 - 27年度は青木大副会長が金田会員がガバナーとして福島県のロータリーをリードするという、そういう40周年、ガバナー輩出年度に向けた組織、環境作りに会員一同一丸となって頑張る年、橋渡しの年と私は思っておりますので、どうか残り半年になります。是非至らない会長ですが、皆様のご協力を仰ぎながら次年度次々年度の成功に結び付くように頑張りたいと思いますので、どうか最後までご協力をお願い申し上げまして会長の年頭卓話といたします。ありがとうございました。

第8回 理事会

日時 令和7年1月9日(木)

【報告事項】

1. 令和7年1月1日十文字俊之様・高田久美子様 正式入会
2. 県南分区IM登録料支払いの件、1人7,000円 全員登録73名で511,000円支出
3. 寄付の件 ポリオプラス基金
\$ 8.00×157円×73名91,688円支出
ロータリー財団 \$ 50×157円×73名573,050円 支出
米山寄付5,000円×73名365,000円
4. メイクアップの件
深谷ノースRC2月18日(火)
コザRC4月17日(木)にて決定
5. 第2回会長幹事会1月21日(火)
南湖花文にて開催8,000円×2名 16,000円支出
阿部会長・十文字幹事参加
6. 次年度地区青少年奉仕委員会
インターアクト委員会出向の件
十文字光伸会員にて出向
7. 盲導犬応援プロジェクトin白河2025
令和7年3月22日(土)
新白信ビルイベントホールにて開催

【審議事項】

1. 盲導犬応援プロジェクトin白河2025について
参加者の動員についてとイベントの告知方法や
当日の内容を映像等で残せないかについて
話し合いがおこなわれた。